

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票（令和2年度事業）

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価
達成	目標値≧100%	4	A
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B
やや不十分	目標値≧50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値	
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	R2年度実績	20827件	2	B	年間の登録点数。購入、寄贈、館員収集、保管換、新規寄託など。目標値は、H29-R1年度の平均値	
					館設定の目標	34000件				
			2	資料の情報化・公開実績	R2年度実績	57637点	4			情報システム登録点数（年間増加）
					前年度実績	54549点				
			3							
			4	館外貸出（外部機関等展示等）	R2年度実績	16件	3			館外貸出（分館への貸出含む）
		前年度実績			18件					
		5	館内利用（学術調査等）	R2年度実績	197755点	4	A	GBIF、GISでのデータ活用、研究用貸出		
				前年度実績	194480点					
		6	著作物資料への利用（出版物掲載等）	R2年度実績	65件	4	出版物、放送（撮影、デジタル情報の利用）の全ての件数			
				前年度実績	46件					
		7	調査事業件数	件数	R2年度実績	94件	4	A	R2年度、調査研究課題件数	
前年度実績	85件									
8	共同調査事業件数	件数	R2年度実績	17件	4	A	他機関との共同研究に加え、科研等外部資金の分担者の件数を加算した			
			前年度実績	15件						
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	R2年度実績	71件	3	A	R2学術論文の数			
			前年度実績	80件						
大項目Iの総合評価（A～D）						A				
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●（項目1）：資料の受入点数の減少は、新型コロナ禍による影響で野外調査中止により標本採集点数が減ったため。</li> <li>●（項目2）：情報・公開点数の増加は、臨時休館中に登録作業が進んだため。</li> <li>●（項目4-6）：資料の活用実績が良好なのは、業務自体が新型コロナ禍の影響を受けにくく、当館の資料が周知されてきたため。（林辰雄写真資料：R2年は13件）（人文資料の利用も恒常的に多い、R2年は28件）</li> </ul>									
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	R2年度実績	53,865人	1	D	コロナ対策により、開催期間を秋に変更して開催。 ●季節展：春の展示「うめ・もも・さくら」、収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」、春の展示「九十九里浜の自然誌」、●トピックス展「チバニアン正式決定!」、●チバミュージアムフェスタ2020「オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史」
						前年度実績	108,751人			
			2	企画展(ちばの縄文-貝塚からさぐる縄文人のくらし-)	入館者数	R2年度実績	10,564人	1		
						前年度実績	24,165人			
			3	トピックス展等	入館者数	R2年度実績	41,008人	2		
						前年度実績	56,524人			
		4	常設展示	更新回数	R2年度実績	35回	4	A	季節展、トピックス展、生態園トピックス展、ミニトピックス展、出張展示等	
					前年度実績	39回				
		5	企画展(ちばの縄文-貝塚からさぐる縄文人のくらし-)	実施回数	R2年度実績	1回	4			
前年度実績	1回									
6	トピックス展等	実施回数	R2年度実績	19回	4					
			前年度実績	18回						
7	総合的な満足度	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	R2年度実績	89%	4	A				
大項目IIの総合評価（A～D）						B				
博物館コメント	●（項目1-3）：新型コロナウイルス感染拡大防止対策のなか、緊急事態宣言に合わせ2度の臨時休館期間を設けたこと、学校など団体の受け入れをしなかったことから、入館者数は大きく減少した。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値				
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	R2年度実績	103%	4	A	達成率=実績額÷収入見込額
						前年度実績	96%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	R2年度実績	27件	4		
						前年度実績	27件			
大項目IIIの総合評価 (A~D)								A		
博物館コメント		●例年並みの実績をあげることができた。								
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和2年度実績	765回	2	C	R2年度(新聞・雑誌:18件, テレビ・ラジオ:31件)
						前年度実績	1015回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和2年度実績	109,506件	3		
						前年度実績	129,099件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和2年度実績	49件	1		
						前年度実績	126件			
大項目IVの総合評価 (A~D)								C		
博物館コメント		●新型コロナウイルス感染防止対策による休館等による行事の中止・展示の休止などのため、全般的に前年度に比べ、大幅に減少した。								
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和2年度実績	5校	1	D	団体受け入れは休止していたため、事前申込無しで来館した学校団体の数。
						前年度実績	102校			
			2		入館者数	令和2年度実績	207人	1		
						前年度実績	7289人			
			3	生徒・児童	入館者数	令和2年度実績	8148人	1		
		前年度実績				24014人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和2年度実績	3校	1	アウトリーチ活動は休止していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を施して、特別支援学校への対応などは行った。		
					前年度実績	14校				
				5		利用者数	令和2年度実績			55人
		前年度実績	745人							
地域関係団体との連携	6		団体数	令和2年度実績	11団体	1	C		新型コロナウイルス感染拡大防止対策が施せる連携のみを行った。	
				前年度実績	86団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和2年度実績	11回	1				
				前年度実績	90回					
	8		利用者数	令和2年度実績	245人	1				
前年度実績				3101人						
9	友の会活動(博物館サークル活動)	利用人数	令和2年度実績	0人	1	当該者に活動自粛を要請した。				
			前年度実績	735人						
10	ボランティア活動	活動延人数	令和2年度実績	187人	4	ガイドラインを策定し、一般利用客と直接触れ合う活動を行わないボランティアに限って、8月から活動を行った。				
			前年度実績	175人						
大項目Vの総合評価 (A~D)								C		
博物館コメント		●令和2年度は、県教育委員会の方針に従い、全ての教育普及事業について新型コロナウイルス感染症への感染を防ぎ安全に実施するための手法や対策を検討し、対策が施せる事業についてのみ人数制限等を行った上で実施した(対策が施せない事業や感染リスクが高いと判断される事業は休止(中止)とした)。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、多くの事業を休止したため、また、実施事業も人数制限を行ったため、前年度実績等と比較しての「達成状況」の判定、「総合評価」は上記のとおり。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考		
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明	数値					
VI	教育・普及活動	来館状況	1	ミュージアム・トーク	参加者数	令和2年度実績	0人	1	D	感染対策が施せないため休止とした。	
						前年度実績	2142人				
			2	講座	講座・観覧会	参加者数	令和2年度実績	65人		1	感染対策が施せた事業のみ、参加者を制限して実施した。
							前年度実績	1945人			
			3	展示関連行事	参加者数	令和2年度実績	75人	1		感染対策が施せた事業のみ、参加者を制限して実施した。	
						前年度実績	5378人				
			4	体験教室	体験イベント	参加者数	令和2年度実績	610人		1	感染対策が施せた事業のみ、参加者を制限して実施した。
							前年度実績	9601人			
		5	体験教室	中央博調査隊・森の調査隊	参加者数	令和2年度実績	人	1	D	感染対策が施せないため休止とした。	
						前年度実績	1814人				
		6									
		7	自然誌フェスタ	参加者数	令和2年度実績	0人	1	D	感染対策が施せないため休止とした。		
					前年度実績	932人					
		8	山のフィールドミュージアム(注：館外)	参加者数	令和2年度実績	0人	1	D	感染対策が施せないため休止とした。		
					前年度実績	150人					
		9								講座ごとにアンケートは実施していないため未記入	
		10	講座								
11											
12											
13	体験教室										
14											
15											
16											
17	利用状況	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	令和2年度実績	919件	4	A	電話、電子メールによる相談は、通常通り行った。対面による相談対応は、感染防止対策を施し、8月から再開した。			
				前年度実績	331件						
大項目VIの総合評価 (A~D)								C			
博物館コメント	<p>●令和2年度は、県教育委員会の方針に従い、全ての教育普及事業について新型コロナウイルス感染症への感染を 방지安全に実施するための手法や対策を検討し、対策が施せる事業についてのみ人数制限等を行った上で実施した(対策が施せない事業や感染リスクが高いと判断される事業は休止(中止)とした)。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、多くの事業を休止したため、また、実施事業も人数制限を行ったため、前年度実績等と比較しての「達成状況」の判定、「総合評価」は上記のとおり。</p>										

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値		
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	令和2年度実績	人	1	D	空調機器故障のため中止とした。 オンライン研修を1回実施した。 感染対策が施せないため休止とした。 感染対策が施せないため休止とした。		
					前年度実績	16人					
			2	教員等の研修	令和2年度実績	15人	1				
					前年度実績	71人					
		3	職場体験	令和2年度実績	0人	1					
				前年度実績	38人						
		4	インターンシップ	令和2年度実績	0人	1					
				前年度実績	43人						
		5	研修会の開催	実施回数	令和2年度実績	0回	1		D	感染対策が施せないため職員を集めての研修会、訓練は中止でしたが、コロナウィル対策等の必要な情報は、電子メール等で、適宜、全職員に周知を図った。	
					館の計画	1回					
6	防災訓練実施等	実施回数	令和2年度実績	0回	1						
			館の計画	1回							
大項目VIIの総合評価（A～D）						D					
博物館コメント	<p>●令和2年度は、県教育委員会の方針に従い、全ての教育普及事業等について新型コロナウイルス感染症への感染を防ぎ安全に実施するための手法や対策を検討し、対策が施せる事業についてのみ人数制限等を行った上で実施した（対策が施せない事業や感染リスクが高いと判断される事業は休止（中止）とした）。なお、博物館実習については、空調機器の故障のため熱中症が危惧され、やむを得ず中止とした。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、多くの事業を休止したため、また、実施事業も人数制限を行ったため、前年度実績等と比較しての「達成状況」の判定、「総合評価」は上記のとおり。</p>										
VIII	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和2年度実績	3団体	1	D			団来受け入れは休止していたため、事前申込無しで来館した団体の数。
					前年度実績	14団体					
			2		令和2年度実績	60人	1				
		前年度実績			833人						
		3	外国人来館入込	令和2年度実績	0人	1					
				前年度実績	252人						
大項目VIIIの総合評価（A～D）						D					
博物館コメント	<p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の理由で、団体等の受け入れは大幅に減少した。そのため前年度実績等と比較しての「達成状況」の判定、「総合評価」は上記のとおり。</p>										
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和2年度実績	6件	4	A	<p>●ウェブサイト：在宅でも楽しめる「おうちで中央博」（コンテンツ5件）というサイトを立ちあげた。●展示：春の展示「うめ・もも・さくら」で展示解説を「スマホ音声ガイド」というデジタルコンテンツを作成した（1件）。</p> <p>新規コンテンツとして「タネの大冒険」他6件を追加し、「下総台地と周辺の貝化石」1件を更新した。</p> <p>館主催のオンライン行事として、1）シンポジウム「九十九里浜の浸食を考える」、2）講演会「博物館における資料の増加」（2件）を開催した。また館外からの依頼のオンライン講座・研修会も複数件協力・対応した。</p> <p>博物館の展示活動を、ウェブサイトで発信する他、印刷物（パンフレット等）（縄文展、オリパラ展、ポストカード展、九十九里展、身近なコケ）（5件）を作成した。</p>	
						令和2年度の目標	6件				
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	新規制作数	令和2年度実績	6件	4			
						令和2年度の目標	6件				
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和2年度実績	2件	4			
						令和2年度の目標	2件				
			4	デジタル・デバイド解消のための対策	実施回数	令和2年度実績	5件	4			
						令和2年度の目標	5件				
大項目IXの総合評価（A～D）						A					
博物館コメント	<p>●（項目1）：新型コロナウイルス感染防止対策のため、臨時休館等が実施されるなか、「おうちで中央博」などのサイトを立ちあげ、在宅でも博物館コンテンツを楽しめる工夫をおこなった。</p> <p>●（項目2）：休館等で閲覧の機会が減った展示会については、ウェブサイトからの情報発信力を強化することで対応した。</p> <p>●（項目3）：オンラインによる講座等も積極的に実施した。</p> <p>●（項目4）：ウェブサイトには環境の十分でない方を対象に印刷物による情報発信もおこなった。</p>										

分類	大項目	中項目	小 項 目			達成 状況	総合 評価	備考			
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値		
X	その他	コロナウ イルス感 染症対策	1	職員の執務環境の整備	令和2年度実績	82人	4	A	対面座席間に遮蔽版を設置し、閉鎖的な執務室には、通常換気に加え送風機等を追加整備し、電話等の共用品は適宜消毒清掃を実施。 業務用出入り口を利用する全ての入館者に検温を実施した。 開館前に、出勤全職員によるアルコール/洗剤による消毒清掃を実施 全ての入館者に、検温と入館票記入、マスク着用、手指消毒を求め、ほぼ全ての方が応じた。		
					全職員	82人					
			2	出勤職員・外来者の検温	令和2年度実績	365日	4	A			
					全出入り者	365日					
			3	展示室の消毒清掃	令和2年度実績	197日	4	A			
					開館日は毎日	197日					
			4	利用者の検温等	令和2年度実績	197日	4	A			
					開館日は毎日	197日					
			大項目Xの総合評価（A～D）							A	
			博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者・職員の安全確保のため、県教育委員会の指示並びに日本博物館協会が策定した「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に従って感染症対策を実施した。</li> <li>●令和2年度からの新規事業のため、他項目と異なり「達成状況」・「総合評価」は前年度実績との比較の数値ではない。</li> </ul>							
			総合評価（A～D） [各達成度の平均]							B	
			総合評価と次年度への対策	<p>これまでの博物館は、積極的に人を集め、密を作り出すことにより、活動をおこなってきた。しかし令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、二度の休館をおこない、ほとんどの行事を中止し、実施する行事も極力密を減らすという、従来とは全く異なるアプローチにより活動を実施することになった。そのため、これまでの評価方法からみると今回の評価数値は低い（特に項目V～VIII）。</p> <p>しかしこの未経験の事態に対し、リモートによる行事の開催、ウェブサイトを活用する博物館活動など、新たな博物館活動を試みた（項目IX～X）。これらの試みはまだ途上であるが、むしろこれからの博物館活動の方法そのものを変えていく可能性のある貴重な経験であった。新型コロナウイルス感染症の影響下での博物館活動はこれからも続くことが予想されるため、今回の経験と活動を生かし、将来の博物館活動につなげていく必要がある。</p>							